

追悼

あなたから絆、仲間の大切さを学びました…

ありがとう 辻 猛 委 員 長



陸前高田の皆さんと。右から3人目が奥様、左から5人目が辻さん（平成28年6月撮影）

辻 ひでみ

仲間の誕生日

一人はみんなのためにみんなは一人のために

一度決めたことは最後までやり遂げる、男気のある人でした。皆様のお力を借りて、北陸ダンプでは重責を担い、大変ながらもどこか楽しく、常にやりがいを持つて頑張つてくれました。

東日本大震災から丸7年になりますが、毎年のように現地に足を運び、ボランティア活動にも熱心だった夫。辛いことは自分のことのように受け止め、嬉しいことがあれば一緒に喜んで：皆様の心に寄り添つきました。

家の一室をカラオケルームにしてしまったくらい歌が好きで、いつも気持ちよさそうに声を響かせていました。

闘病中は万全な身体でない中、できる限りのことをしようと大きなハンドルを握り続けてきた頑張り屋です。

夫 辻猛は平成30年3月

30日、満69歳にて生涯

をとじました。

お仲間や家族と過ごした楽しい思い出を振り返つていることでしょう。これまで良きご縁を結んでいただきました皆様へ、深く感謝申し上げます。

心よりご冥福をお祈りいたします。

辻委員長は、ダンプ労働者の生活改善と権利向上のため、交通安全講習会の開催、一人親方労災保険の加入促進、就労闘争など組合活動の先頭に立ち、北陸ダンプ支部の発展に大きく貢献されました。常々、組合を日本一の組織にしようと語っておられました。

辻委員長は、ダンプ労働者の生活

改善と権利向上のため、交通安全講

習会の開催、一人親方労災保険の加

入促進、就労闘争など組合活動の先

頭に立ち、北陸ダンプ支部の発展に

大きく貢献されました。常々、組合

を日本一の組織にしようと語つてお

られました。



平成28年8月の支部大会で「団結ガンバロー」

ボランティア活動がライフワーク

東日本大震災の重機ボランティアを機に、

被災地への支援活動は辻委員長のライフケー

クといつてもいいほど、熱心に取り組まれてい

ました。平成23年4月に1回目の重機ボラ

ンティアを派遣して以降、6年間で17回も

現地に行つてボランティア活動に取り組みま

した。

市街に散乱した流木、家屋がれきを人力で

撤去するのが困難な中、いち早くその必要性

を感じて、10

tダンプやパ

ワーショベル、

移動クレーン

などを福井か

ら持ち込んだ

重機ボランティアは注目を

集めました。



被災地の方々と談笑する辻さん。“福井の親分”と慕われていました。



辻 猛 氏（つじ・たけし）享年69歳

平成17年8月、北陸ダンプ支部福井分会に加入、翌18年10月に越前分会を結成し、分会副委員長に就任。19年8月北陸ダンプ支部副執行委員長、22年8月支部執行委員長に就任。23年3月11日に発生した東日本大震災では、いち早く重機ボランティアを結成し、ボランティア活動の陣頭指揮にあたりました。その後も、毎年、私財も投じて支援物資を持って現地入りし、被災地の皆さんを励まし続けました。

全労連・全日本建設交運一般労働組合

石川県本部 北陸ダンプ支部

金沢市木越町チ七七一二

☎ (076) 257-4885

FAX (076) 257-4886

辻委員長、痛みから解放されてゆつくりしていませんか？でも、きっと委員長のことだから、北陸ダンプのことを心配しているのでしょうか。あまりに早すぎたお別れに、まだ現実を受け入れたくない私がいます。電話の向こうから「くぼちやん！」という声が聞こえてくるような気がします。委員長を失い、今までどれほど支えていただき、頼りにさせてもらってきたさんの想い出が走馬灯のよう頭によぎる日がまだ続きそうです。失敗を繰り返しながら、私として精一杯の努力をして、委員長がここまで育ててくださった「北陸ダンプ支部」を組合員のみんなと一緒に前進させていきたいと思います。委員長が岐阜で「がんばれ！」と肩を抱いて、言つてくださった言葉をして…またいつかお会いし「くぼちゃん」と呼んでいただくときまでのさようならです。ありがとうございました。



(北陸ダンプ支部書記長 久保浩美)



辻さんへ 自分は嶺北分会に入つてから、辻さんの一番近くにいろいろなことを学びました。組合や人に対しての人情や情熱は誰よりも厚かつたです。ボランティアも、ここまでする人はいません。自分も、1回目、2回目とボランティアに行き、地方にも同行しました。これからも道付けをしてくれた活動を受け継いでいかないといけない。重機ボランティアをやり遂げたからこそ、知名度が上がり、北陸ダンプが成り立つていると思います。日本一の集団！日本一の親分！！69歳という若さで、本当にとても早い死でした。最後にさよならは言いません。大好きなカラオケを歌いながら、ゆっくり休んでください。長い間お疲れさまでした。本当にありがとうございました。（嶺北分会書記長 山田満）



“ハグレさん！”最初に仕事で出会つてから、二十数年。仕事だけの関係だったのが、のちに北陸ダンプ嶺北分会に入ることになり、分会の活動にも参加させてもうようになりました。貴方のことで特別印象に残っているのが、陸前高田へのボランティア活動です。十数度にわたつての活動でした（私の場合は終わりの頃の数回、参加させてもらいました）が、地区の人たちに“福井の親分”と呼ばれ、別れの時には神や仏様に祈るように両手を合わせる姿、私たち一人ひとりと握手をして涙する様子を見たときには、目頭が熱くなつたものです。貴方をはじめ、北陸ダンプのメンバーは「本当にすごいことをやつたんだなあ」と思つたものです。その活動により、「北陸ダンプ」の名を広く知らしめましたよね。貴方が行つてきた活動（偉業）のはんの一部ですが、私にとつても大きな誇りとなつています。今後、北陸ダンプとして進んでいくべき方向は定かではないですが、貴方が「ガッカリ」しないようにしたいと思っていますので、北陸ダンプを見守つていてください。今まで、本当に疲れました。ゆっくり、力ラオケでもやつてください！

（嶺北分会委員長 西弘明）

書記長 田中清明）

辻さんがいたから、今の岐阜分会があるといつても過言ではありません。岐阜に分会を作る当時、多くの反対意見があつたなかで、辻さんが「わしが面倒みるので作る！」と言つてくれたと聞き、この人を信じて、ついて行きたいと強く思いました。組合に対する献身的な活動、東日本大震災などのボランティア活動は誰にでもできることではないと尊敬していました。お疲れさまでした。

（岐阜分会委員長 山田信二、岐阜分会書記長 田中清明）

一時期、ダンプを手離し、ダンプの仕事をから離れたときに、組合も辞めようと辻さんに相談したことがあります。その時、辻さんは「お前が組合を辞めたら、岐阜分会はどうするんや！つぶれてしまやないか！」と、大変な勢いで叱つてくれましたね。辻さんがこんなにも自分が買つてくれていると感じ、あんなにうれしかつたことはありません。岐阜分会は、辻さんが作つてた嶺北分会（旧越前分会）を目標に、頑張つてきました。これからも辻さんの想いを受け継いでいきたいと思っています。ありがとうございました。（田中清明）

長い間、お疲れさまでした。ありがとうございます。亡くなつた今、組合活動や東北ボランティアのことを熱く語る姿、（亡くなる一週間ほど前だつたでしょうか）痛みをこらえ病を押して仕事をしていた姿が目に浮かんできます。なまづいですが、本当にどうぞごめんなさい。自分も、1回目、2回目とボランティアに行き、地方にも同行しました。これからも道付けをしてくれた活動を受け継いでいかないといけない。重機ボランティアをやり遂げたからこそ、知名度が上がり、北陸ダンプが成り立つていると思います。日本一の集団！日本一の親分！！69歳という若さで、本当にとても早い死でした。最後にさよならは言いません。大好きなカラオケを歌いながら、ゆっくり休んでください。長い間お疲れさまでした。本当にありがとうございました。（嶺北分会 大島信行）

長い間、仕事の交渉、また、ボランティアなど、あちらこちらに行つていただき、ご苦労様でした。ありがとうございます。安らかに永眠してください。9年間の人生は急がしかつたね。ゆづくりお休みください。

（嶺北分会 笹島一男）

辻さんとの出会いは、組合に入つて就労した熊ノ子の現場でした。仕事面でいろいろアドバイスをいただきました。本当にありがとうございます。ありがとうございました。69年間の人生は急がしかつたね。ゆづくりお休みください。

（嶺北分会 笹島一男）

末期がんと闘いながらも、最期まで、ダンプ組合やボランティア活動に尽力されました。安らかに永眠してください。9年間の人生は急がしかつたね。ゆづくりお休みください。

長い間、仕事の交渉、また、ボランティアなど、あちらこちらに行つていただき、ご苦労様でした。ありがとうございます。安らかに永眠してください。9年間の人生は急がしかつたね。ゆづくりお休みください。

（嶺北分会 川端敏男）

辻さんとの出会いは、組合に入つて就労した熊ノ子の現場でした。仕事面でいろいろアドバイスをいただきました。本当にありがとうございます。ありがとうございました。69年間の人生は急がしかつたね。ゆづくりお休みください。

長い間、仕事の交渉、また、ボランティアなど、あちらこちらに行つていただき、ご苦労様でした。ありがとうございます。安らかに永眠してください。9年間の人生は急がしかつたね。ゆづくりお休みください。

（嶺北分会 川端敏男）

辻さんとお別れしてから早くも2週間が経ちました。未だに実感できません。私にとって辻さんは偉大人でした。どんな時も、どんな人にも優しく接し、常に組合のために様々なことに取り組んでくださいました。最後の最後まで全力で…。本当に感謝しています。大変お世話になり、ありがとうございます。辻さんにお会いすることができないと思ふと、寂しくて仕方ありませんが、いま組合事務所の壁に貼つてある辻さんの笑顔の写真が「がんばれよ！」って優しく見守つてくれているように思えます。（書記局 奥村美重）



辻さんと34歳の時に知り合つて、3年になります。一つひとつ書くと長くなりますが、良い経験、体験をしました。こんな人は二度といふと思う。今思うことは…悔しい。（嶺北分会 山本敏秋）

6年になり、色々なこと、色々な思い出があります。一つひとつ書くと長くなりますが、良い経験、体験をしました。こんな人は二度といふと思う。今思うことは…悔しい。（嶺北分会 山本敏秋）

（書記局 西崎史人）